第97回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第11日目 7月20日(月)

準決勝 楽天Kobostadium宮城 2時間 42分

仙台育英	5	4	0	1	0	0	0	1	0	11
石巻	3	1	0	0	0	0	1	0	0	5

【仙】	37	15	11	5	3	7	1	9	0	0
【石】	36	9	5	0	0	5	12	9	2	0

(球) 佐藤拓 (一) 西山充 (二) 安部吉 (三) 小松宗

【仙】 佐藤世・百目木 ー 郡司
【石】 亀山・木村 ー 阿部

▽暴投 木村1(石)

▽捕逸 なし

▽本塁打 郡司(仙)

▽三塁打 佐々木柊(仙)

▽二塁打 佐藤将・紀伊(仙)
加藤(石)

【評】

育英は初回、無死3塁の好機に2番青木が中前打を放ち先制。2死から5番佐々木良、7番佐々木柊、8番谷津の適時打で5点を挙げ一方的な試合になると思われたが、その裏石巻は先頭の田中、2番千葉寛の連打、3番金野、4番安住が四球を選び押し出して1点を返し育英先発の佐藤世が降板。後を継いだ百目木からも連打で計3点を挙げた。

育英は2回、2死3塁から4番郡司の投手強襲適時打を足掛かりに6番紀伊、7番佐々木柊の連続適時打で4点を追加。その後も郡司の本塁打を含む計15安打の猛攻で11点を挙げ試合を決めた。石巻は再三にわたり走者は出すものの育英の2番手投手百目木を攻めきれず、2回以降は2点に抑えられた。打力に勝る育英が2年ぶりの決勝進出。

準決勝 楽天Kobostadium宮城 1時間 50分

古川工業	0	1	0	0	0	4	2	7
学院榴ケ岡	0	0	0	0	0	0	0	0

【古】	29	10	5	3	3	6	3	10	0	1
【学】	24	5	0	1	2	3	5	8	2	0

(球) 大槻充 (一) 金昌 (二) 氏家健 (三) 鴫田代
(7回コールド)【古】 佐藤 ー 渡邊
【学】 松田・木皿・遠藤・今井佑 ー 大久保

▽暴投 佐藤1(古),木皿1・遠藤1(学) ▽捕逸 なし

▽本塁打 なし

▽三塁打 なし

▽二塁打 遠藤2・鹿野(古)
なし(学)

【評】

ノーリードながら勝ち上がってきた中部の東北学院榴ケ岡対と北部の古川工業の対戦。先制したのは古川工。2回5番遠藤の2塁打後8番渡邊の内野安打と敵失の間に1点を奪う。続く6回には、4番庄子5番遠藤の連続安打などの後6番齋藤のスライズや9番高橋の適時打などでこの回一挙4点を挙げ試合の主導権を完全に握った。追う榴ケ岡は7回この試合無死満塁の絶好の機会を得たが、その後、得点することができなかった。東北学院榴ケ岡は、継投でこれまで勝ってきたが、この試合では、上手く機能出来なかった。